

放射線と食品に関する講演会

がんと放射線 ～暮らしと食生活～

放射線とはどんなものか、放射線と放射能の違い、被ばくには「外部被ばく」と「内部被ばく」があること、どのくらい放射線をあびると体に影響があるのか、発がんリスクが上昇するとはどういうことなのか、こうしたことをがん専門医の立場からわかりやすく解説します。

講師：東京大学医学部附属病院放射線科准教授

中川 恵一 先生

東京大学医学部附属病院放射線科准教授、緩和ケア診療部長。専門は、放射線によるがん治療。東大病院で放射線治療を担当する専門家がスクラムを組み、福島第一原発事故の放射能汚染に関する正しい医学的知識をブログやツイッターで提供し、注目される。毎日新聞に「Dr. 中川のがんの時代を暮らす」を連載中。主な著書に、「放射線のひみつ」（朝日出版社）、「がんの練習帳」（新潮社）など。



日時 平成 24 年 2 月 3 日 (金)

午後 1 時半～4 時 (午後 1 時開場)

場所 **イズミティ21 小ホール**

仙台市泉区泉中央 2-18-1

(地下鉄泉中央駅北 3 出口からすぐ)

入場無料【事前申込みが必要です】

定員：350 名 (申込み者多数の場合は抽選)

問い合わせ

仙台市役所生活衛生課 (Tel：022-214-8205)



申込方法 平成 24 年 1 月 16 日必着

下記の(1)～(5)を記入のうえ、ハガキまたは電子メールでお申込みください。

- (1) 講演受講希望の旨
- (2) 氏名 (フリガナ)
- (3) 郵便番号
- (4) 住所
- (5) 電話、FAX 番号

〔託児 (2 歳以上の未就学児) を希望する方は、併せてお子様の年齢を月齢までお書きください。〕

抽選結果は、1 月 24 日頃までにハガキで連絡します。

申込み先

ハガキ：〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目 7-1

仙台市役所生活衛生課 あて

メール：syokuhin@city.sendai.jp

携帯電話で右の二次元バーコードから読み取れます。(対応機種のみ)

